

JAきたみらい

おひさま サタダ

2026



vol.283

8



特集

新規就農者激励状授与式と
北見地区新規就農者交流研修会

第47回くんねっぷふるさとまつり
どすこい!くんねっぷバブル相撲の様子
(紹介は2ページです)



収量・品質に期待 秋まき小麦の収穫作業開始!

季節の薫り



JAきたみらいでは秋まき小麦「きたほなみ」の収穫が7月20日から始まりました。今年は適度な降雨と温度のなか順調に生育し、収穫作業は平年並みの日程で開始されました。

管内各地では、黄金色に色づいた小麦畑を大型コンバインが次々と麦穂の刈取りを進め、収穫された小麦は大型ダンプに積み込まれ、JA小麦乾燥調製貯蔵施設へ搬入されました。

今年度約8畝の作付けをしている、きたみらい麦作振興会の岡見博文会長は「刈取りが始まってからは雨が少なく順調に作業が進んだ。実入りが良く、細麦の心配も少ないので収量・品質ともに期待したい」と話しました。

今年度、当JAでは約3,700畝作付けしており、生産量は約27,000トンを予定しています。



おひさまサラダ

をホームページで 閲覧できます!

広報誌「おひさまサラダ」を当JAのホームページで紹介しています。

右下にあるQRコードから閲覧できますので、ぜひご覧下さい。



もくじ CONTENTS

○まちがいさがし.....	16	特集 新規就農者激励状授与式と 北見地区新規就農者交流研修会	4
○JAからのお知らせ.....	10	○表紙紹介.....	2
○みらいプロジェクトチャンネル.....	9	「行灯や出店、新登場の イベントなど大盛況 〜第47回くんねっぶふるさとまつり〜」	2
○ほのぼの広場.....	8	○JAトピックス.....	6
・我が家のペット ・きたみらい特定技能生	8	○季節の薫り.....	2

表紙紹介

行灯や出店、新登場のイベントなど大盛況 〜第47回くんねっぶふるさとまつり〜

7月11日と12日、訓子府町で第47回くんねっぶふるさとまつりが開催され、多くの人でにぎわいを見せました。11日の夜は行灯パレードが行われ、様々な団体が趣向を凝らした行灯を披露。JAきたみらい青年部南支部は人気のアニメやゲームのキャラクターなどを描いた行灯を引いて観客にアピールしました。

12日は多くのキッチンカーや出店が並び、当JAはゆめいころのフライドポテトやコロッケなどの販売、同支部はキッズコーナーで射的を行い、多くの人が訪れました。

また、祭りの実行委員会では新登場のイベント「とすこい!くんねっぶバトル相撲」を開催し、当JAの職員や組合員も参加しました。2対2の白熱した攻防が繰り広げられ、訓子府地区の山本将志さんのチームが3位に入賞しました。



▲青年部の射的ブース

新規就農者に激励状を授与

「きたみらい管内に17人が就農」

第一次産業の農業を「自分の職場」として、高校・大学などを卒業して就農された方、あるいは他産業に従事し、第二の職場としてUターンされた方、いずれも農業への情熱は同じです。農業に意欲を持って取り組む方に、毎年、JAグループ北海道五連から激励状が贈られます。本年の激励状授与式と北見地区新規就農者交流研修会が、6月25日に行われました。

北海道の農業・農村を担う一員として、新しく農業に意欲を持って取り組む方に毎年、JAグループ北海道五連（中央会・ホクレン・北信連・共済連・厚生連）会長連名の激励状と記念品を贈呈しています。

当JAでは新規学卒者9人、Uターン8人の計17人に激励状が授与されました。

激励状授与式は、6月25日にJAきたみらいセンター事務所で行われ、9人が出席しました。齊藤専務はJAグループ北海道五連の使命と事業内容を説明した後、同じ農業人になる仲間たちへ激励の言葉を贈りました。その後、一人ひとりに声を掛けて激励状を手渡すと、新規就農者のみなさんは真剣な面持ちで受け取っていました。



▲激励状を受け取る小林さん（相内地区）



▲激励の言葉を贈る齊藤専務



▲授与式に出席した9人の就農者とJAきたみらいの役職員

新規就農者への期待を講演

北海道大学 小林准教授

北見市、訓子府町、置戸町の就農2年目までの若手農業者を対象にした北見地区新規就農者交流研修会が6月25日にJAきたみらいセンター事務所で行われ、若手農業者や関係機関など合わせて約30人が参加しました。

学農学研究院の小林国之准教授が講師を務め『新規就農者に期待すること』と題して講演しました。

小林准教授は「JAとは何か」「何のために農業をやるのか」「これからの農業に大切なことは何か」の3つのテーマで、参加者の意見も踏まえながら講演。日常的にJAと関わっていくことや、周りの仲間と切磋琢磨してチャレンジしていくことなどに期待を寄せました。

同研修会は1市2町とJAきたみらいなどで構成している北見地区農業振興連絡協議会の主催で、農業の知識研鑽及び情報交換などを図ることを目的として開催。北海道大



▲講演する小林准教授



▲熱心に話を聞く参加者



▲講演の様子



▲講師を囲んで記念撮影



J A トピックス

最先端農業技術と食の魅力を学ぶ

～JAきたみらい女性部北見支部～

JAきたみらい女性部北見支部は6月24日から25日までの1泊2日の日程で道内視察研修を実施し、部員11人が参加しました。

研修では、北広島市のKUBOTA AGRI FRONTを訪れ、施設内の「TECH LAB（テックラボ）」を中心に見学しました。屋内栽培施設などの見学を通して、地球環境問題や国内の就農人口減少といった農業を取り巻く課題に対し、アグリテックを活用した新たな取り組みや、未来の農業の姿について理解を深めました。

その後は、ホクレン 食と農のふれあいファーム「くるるの杜」の農村レストランで昼食をとり、生産者が丹精込めて育てた新鮮な野菜や、道産食材を使用した料理を味わいながら、部員同士の交流を深めました。

参加した部員は「最先端の農業技術を学ぶとともに、生産者の思いが詰まった食材に触れ、農業と食のつながりの大切さを改めて実感することができた。今後の活動にも生かしていきたい」と話し、実り多い研修となりました。



▲TECH LABを見学する部員



▲参加した部員の集合写真

農作業事故と

バイオステイミュラントの学習会開催

～JAきたみらい青年部～

JAきたみらい青年部は6月26日、当JAセンター事務所で開催し、部員44人が参加しました。

学習会は2部構成で行われ、前半は北見地区消防組合消防署消防救助課救助担当係の穴田祐也係長に講師を依頼し、農作業事故について学習。実際に管内で発生した様々な農作業事故や、事故発生時の対応方法などについて説明を受けました。

後半はホクレン北見支所生産資材課の橋しおり氏に講師を依頼し、

バイオステイミュラント（BS）について学習。作物の非生物的ストレスの軽減が期待されるBS資材について、定義や効果、商品などの説明を受けました。

参加した部員は「悲惨な事故について実際の写真を見たり救助時の様子を聞くことで、農作業事故に対する危機意識が一層高まった」「今後必要性が高まると思われるBSについて、基本的な概念から改めて学ぶことができてよかった」と話し、有意義な学習の場となりました。



▲▼学習会の様子



日帰り研修を実施し交流を深める

～JAきたみらいフレッシュミズ～

JAきたみらいフレッシュミズは7月1日、会員交流日帰りの研修を開催し、会員の子どもを含めて15人が参加しました。

この研修は会員同士の交流を目的に例年実施しています。午前中は北見市常呂町の流水窯 手工芸の館を訪れました。陶芸の一種で、電動ろくろを使わず自分の手や指

で粘土を伸ばし形作る「手びねり」を体験し、茶碗や湯呑などそれぞれ好みの作品を製作しました。

その後、同町内で昼食をとり、網走市のフルーツ園高石へ移動。いちご狩りを楽しみました。

研修を終えて、参加した会員は「天候に恵まれず肌寒さを感じる一日だったが、会員同士交流を深めながら多くの体験ができ、充実した研修だった」と話しました。



▲参加者の集合写真



▲手びねり体験の様子

農福連携事業、作業がスタート

当JAでは、7月3日から今年度の農福連携事業による北見市内の障がい福祉サービス事業所への作業委託が始まりました。施設の利用者らは端野地区の㈱アグリもみやまで行ったコンテナの組立て作業を皮切りに、同地区の谷川純一さんの圃場や北見地区の佐藤正人さんの倉庫内で、サラタマや玉ねぎ「真白」の茎葉と根を切り落とす作業を行いました。

同事業では、障がいを抱える方の就労訓練や社会参画の場を創出するだけでなく、労働力不足を抱える農業・農村にとっての労働力の確保や地域農業の維持を目指した取り組みとして、受入農家のも

とで出来高による賃金体系で収穫作業などを行っています。

参加した利用者らは生産者より作業の説明を聞いた後、障がい福祉サービス事業所の支援員と共に作業方法や出来を確認し、お互いに声を掛け合いながら作業に励んでいました。

今年度、初めて農福連携事業の作業を依頼した谷川さんは「事前には農福連携事業の説明や作業の際の条件等を聞いていたため、作業前と後のギャップはなかった。皆さん真面目に作業をしてくれて、出来もきれいでよかった」と話しました。今後は花豆の女竹抜きやにんじくの種割りなどを予定しています。



▲支援員と共に確認を取りながら作業を行う利用者



▲佐藤さんの倉庫内で作業に励む利用者

みらいプロジェクトチャンネル

食料品小売店について④

vol.60

北海道大学大学院農学研究院 李 澍

ただのお買い物ではない何か。それは、沖縄にしか生まれない文化なのだろうか。

いいえ、そうではないと思う。日本の多くの地域と同じように、沖縄でも農村地域を中心に若者の人口流出が進み、高齢化や後継者不足、生活インフラの縮小といった課題が重なっている。また、共同売店も時代の変化とともにその存在感が少しずつ失われていった。それでも、朝から夜まで、地域に住む様々な人の求めに応え続ける光景を作り出していたお店は、決して「元気で力のある地域」だけに見られるわけではなかった。近くにお店が全くない人口100人ほどの過疎地域もあれば、500～600人ほどの農村市街地もあり、市街地の中にありながらすぐ近くにコンビニがあるという地域もあった。

過疎が進むJ集落では、高齢の独身農家が多く暮らしている。お店では、一人暮らし向けの惣菜が豊富に並び、つい同じものを選びがちなところを新しくかつ健康を意識した品揃えが心がけられている。時には、泡盛の買い過ぎへの注意も聞こえてくる。

都市部からそう遠くなく、経済圏としてもある程度の規模を持つK地区では、効率化の流れの中で入荷してくれる卸売業者が数軒にまで減り、仕入れの手間が増えている。それでも、地域の特産と小規模農家からの仕入れを何より大事にしている。「求められているから、役目かと。やらないとみんなも続けられなくなる」という。

市街地中心部にあり、近くにはコンビニもあるN地区は、地域内の繋がりが薄れていく様子が目に見えてきている。そこで、店内の飲食スペースに地域のギャラリーを設けたり、少年団や老人会など地域グループが利用しやすいようにしたり、青年部と連携してイベントを新たに立ち上げ、賑わいを作り出している。

これらは、沖縄・共同売店という存在を主語にして一括りに説明できることというより、店という場を通じて、運営する人達がそれぞれ、地域や地域の人を案じる気持ちから、自分たちに来ることを実践してきたことだと思った。共同売店、そしてそれに代表される農村地域の食料品小売店は、元々そうした役割が備わっていたわけではなく、日常的に使われ、地域と緊密に結びついているからこそ、その関係性の中で自然と芽生えて、それに気づいた人によって具現化された役割だった。

こうして食料品小売店が持つ可能性を感じるほどに、次に浮かんでくるのは「どうすればこれを意識した運営にしていき、それを持続させられるのか」という問いだった。共同売店だけでなく多くの農村小売店が経営に苦しみ、自力だけでは今の地域のニーズに合わせた転換が難しいことを、年々増える閉店数からよく分かるからだ。

そこで、同じような課題に向き合ってきた事例を色々と探してみた。北海道や本州にも近い例が各地に点在しているが、なかでも興味を引かれたのが、アメリカ・カンザス州にあるRural Grocery Initiative（以下RGI）での取り組みだった。20年ほど前、農村地域の課題解決に向けて実践的な動きをしていく第一歩を考えるために各分野の専門家が集められ、そこで出てきたアイデアが「コミュニティの維持には、まず何より食料品小売店を維持していくことだ」というものだった。そこからRGIが立ち上げられ、20年近くにわたってカンザス州を中心にアメリカ全土で、農村地域の食料品小売店の維持と継承、経営形態の転換と経営改善のサポートを行ってきた。直感的に「これだ」と思い、すぐに担当者に連絡を取った。（つづく）

ほのぼのの 広場

我が家のペット

訓子府地区・豊坂 まりおくん(6歳)・まりんちゃん(6歳)

《2匹ともスコティッシュフォールド》



▲まりおくん



▲まりんちゃん

Q. 飼い始めたきっかけは何ですか？

13年間飼っていたゴールデンレトリバーが亡くなってしまい、動物はしばらくいいかなと考えていたのですが、やっぱり動物がいる生活のほうがいいと思い、猫は飼ったことがなかったこともあり新たに迎えることにしました。

最初に「まりお」を飼い始めたのですが、あまりの可愛さに半年後には「まりん」をお迎えしました。

Q. どんな性格ですか？

まりおは食いしん坊で食べるのが大好き。キッチンに人がいると何かもらえると思い近づいてきます。身体は大きいですが臆病な性格です。

まりんはおとなしそうにみえてとってもお転婆です。野良猫と大喧嘩して怪我をしたこともあります。2匹ともとっても可愛くて毎日癒されています。家族みんなに可愛がられていておもちゃが増えていく一方です（笑）。

訓子府地区・豊坂の中西浩司さん・貴子さんの猫達に登場していただきました。



きたみらい特定技能生



トウ ザー ミンさん(26歳)

出身地：メイティエラ

【ミャンマー・マンダレー地域】

Q趣味はなんですか？

写真を撮ることです。

Q好きな日本語はなんですか？

ありがとうございます。

Q日本の食べてみたいものはなんですか？

寿司を食べてみたいです。

Q日本に来て大変だったことはなんですか？

寒かったことです。

Q日本でやってみたいことはありますか？

有名で景色のきれいな場所に行ってみたいです。

Q農作業をしてみてどうでしたか？

大変ですが、みんなと一緒に働くので楽しいです。

★役立つミャンマー語講座

『チエズーティンバーデー』はミャンマー語でありがとうございますという意味です。それに対してどういたしましてというお礼は『ヤーバーデー』と返して言います。

INFORMATION

新規採用のお知らせ



経営支援部
コントラグループ
みちはら かずや
道原 一也
昭和61年生まれ
北見工業高等学校 卒業
趣味・好きなもの
サッカー

一日でも早くお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いします。



経営支援部
コントラグループ
たなか ゆうた
田中 悠太
平成2年生まれ
北見緑陵高等学校 卒業
趣味・好きなもの
家族で旅行や遠出
をすること

組合員や地域の皆さまのお役に立てるよう、一生懸命頑張ります。

JAきたみらいオリジナル加工商品「ゆめいころ」と手羽元のスープカレー」が7月1日より一般販売開始となりました。

男爵薯を母にもつ期待の新品種「ゆめいころ」を使用し、ニンジン、レンコン、国産手羽元肉がゴロっと入った食べ応え抜群のスープカレーです。さらにスパイスをしっかり効かせているので、ご飯がどんどん進みます。是非、お土産やご自宅用にお買い求めください！

1箱300g、一般販売価格1,000円（税抜）。コミュニティプラザパラポ、イオン北見店、コーチャンフオー北見店、エーコープ各店舗にて販売しております。



◀パッケージ

「ゆめいころと手羽元の スープカレー」が新発売！

【お問い合わせ先】JAきたみらい企画開発グループ
TEL 0157-32-8790まで

～JAきたみらい東京事務所通信～ Vol.19

「きたみらい農畜産物応援団の拡大マッチング」店舗のご紹介

『レストラン すずしろ（東京農業大学世田谷キャンパス内）』

東京都世田谷区桜丘1丁目1-1

北見市農林水産部より紹介頂いた東京農業大学世田谷キャンパス内の学生食堂で、当JA産の玉ねぎと馬鈴しょを使用頂いており、東京新宿ベジフル世田谷市場から納品されています。農業に関心を持つ多くの学生が、レストランで提供される料理を通じて、きたみらい地域や生産者とながらぎのきっかけになればと思います。



▲店舗入口と内観の様子▲



▲学食のカレー



▲投手で活躍した大塚選手

勢いに乗った決勝では、ホクレン北見支所と対戦。初回に6連打ら得点と幸先良いスタートを切り、先発大塚選手の熱投に打線も奮起し、見事優勝し4連覇で幕を閉じました。



▲優勝記念写真

6月27日【1回戦】JAきたみらい - JAめまんべつ（雨天決行による勝利）
7月8日【2回戦】JAきたみらい 11-4 ホクレン中斜里製糖工場
7月9日【準決勝】JAきたみらい 4-1 JAオホーツク網走
7月9日【決勝】JAきたみらい 12-8 ホクレン北見支所

戦績

第68回オホーツクJA野球大会で大会4連覇

JAきたみらい野球部は6月27日と7月8日・9日に行われた第68回オホーツクJA野球大会で4年連続8回目の優勝を果たしました。

準決勝では、ホクレン中斜里製糖工場と対戦し、先発金子舜選手（本店共済課）の安定したピッチングと自慢の打線が繋がり5回コールドで勝利しました。

準決勝では、JAオホーツク網走と対戦し、投手戦による緊迫したゲーム展開の中、レフト近藤快選手（企画人事グループ）の好守や、投げては大塚遼人選手（組織振興東グループ）が7回1失点の粘り強いピッチングにより流れを呼び込み、終盤に決勝点を追加し勝ち切る事ができました。

また、個人賞として最優秀選手賞を金子選手、優秀賞を大塚選手が受賞しました。鈴木康平監督（ふれあい相談東グループ）は「大会最長記録に並ぶ4連覇を果たすことが出来た。昨年は全道で悔しい思いをしているため、より良い結果を求めたい。組合員の皆様には大会期間中に選手出場に配慮頂きありがとうございます」と語りました。

今回の優勝で8月25日と26日に行われる全道大会への出場権を獲得しました。今後とも当JA野球部への応援をよろしくお願い致します！

夏期地区別懇談会終える

8会場に235人出席

7月2日から3日と6日から7日の4日間、8会場においてJA地区別懇談会が行われ、組合員と家族のみなさん235人が出席しました。地域運営委員長の進行により、部門ごとに事業への取り組み状況や農



▲36人が出席して行われた訓子府地区懇談会

地区名	組合員戸数	出席人数	出席戸数	出席率
温根湯	52	20	18	34.6%
留辺蘂	31	20	16	51.6%
置戸	68	27	18	26.5%
訓子府	240	36	35	14.6%
相内	58	21	21	36.2%
上常呂	88	21	21	23.9%
北見	119	32	28	23.5%
端野	152	58	48	31.6%
合計	808	235	205	25.4%

畜産物の情勢などを説明した後、出席した組合員からも数多くの意見と質問を頂きました。

なお、懇談会で出された意見・要望などについては後日Q&Aとして「冊子」および「ホームページ」にてお知らせ致します。

地区毎の出席状況

JAからの お知らせ

INFORMATION

！高齢者は特に注意が必要です

1 体内の水分が不足しがちです

高齢者は若年者よりも体内の水分量が少ない上、体の老廃物を排出する際にたくさんの尿を必要とします。

2 暑さに対する感覚機能が低下しています

加齢により、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなります。

3 暑さに対する体の調節機能が低下します

高齢者は体に熱がたまりやすく、暑い時には若年者よりも循環器系への負担が大きくなります。

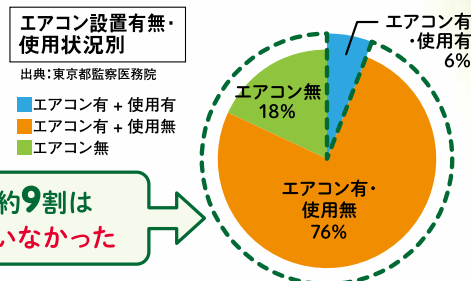
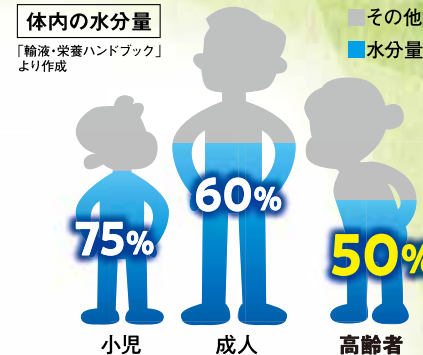
※心臓や腎臓の悪い方や持病をお持ちの方は、かかりつけの医師にご相談下さい。

●東京都23区における熱中症死亡者の状況(令和3年夏)

※計39人(速報値)のうち

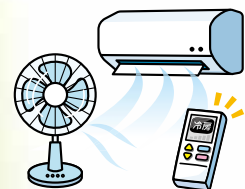
約8割は65歳以上の高齢者

屋内での死亡者のうち 約9割は
エアコンを使用していなかった

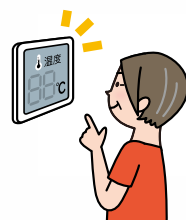


☑ 予防法ができているかをチェックしましょう

☐ エアコン・扇風機を上手に使用している



☐ 部屋の温度を測っている



☐ 部屋の風通しを良くしている



☐ こまめに水分・塩分を補給している



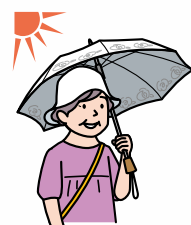
☐ シャワーやタオルで体を冷やす



☐ 暑い時は無理をしない



☐ 涼しい服装をしている
外出時には日傘、帽子



☐ 涼しい場所・施設を利用する



☐ 緊急時・困った時の連絡先を確認している



環境省 熱中症予防情報サイトからの情報をチェック! ▶▶ <https://www.wbgt.env.go.jp/>

環境省では、暑さ指数(WBGT)の情報提供を行っております。令和3年度より全国展開している熱中症警戒アラートおよび、暑さ指数のメール配信等をご活用ください。

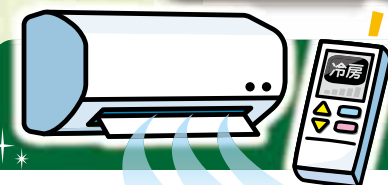
「熱中症警戒アラート」は環境省のLINE公式アカウントで確認することができます▶



友達追加はこちら

高齢者のための熱中症対策

熱中症の予防には、水分補給と暑さを避けることが大切です

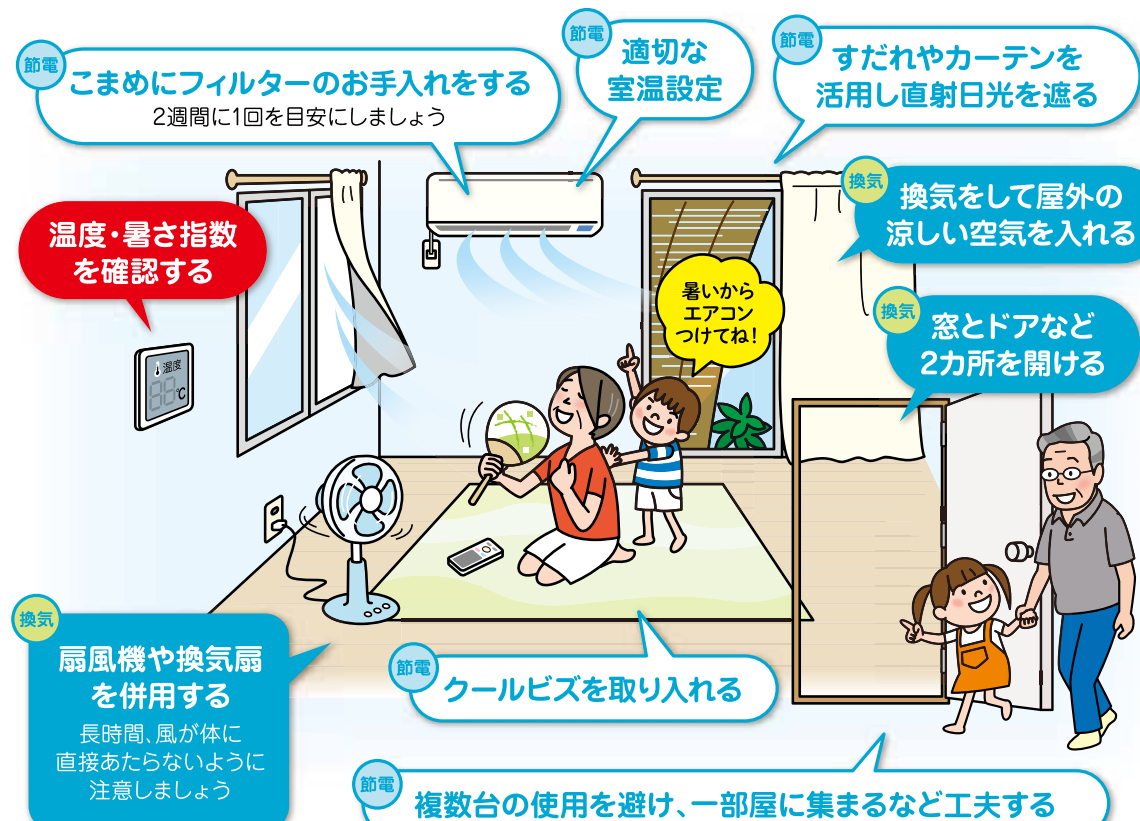


部屋の中でも注意が必要です

エアコンを上手に使いましょう

熱中症は、室内や夜間でも多く発生しています。節電にも配慮して適切にエアコンを使いましょう。

また、エアコン使用中もこまめに換気をしましょう。



さらに 気をつけるべきポイント
のどが渇いていなくても こまめに水分・塩分を補給しましょう

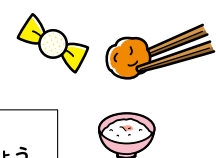
1日あたり
1.2L(リットル)を目安に



コップ約6杯

● 1時間ごとにコップ1杯

● 入浴前後や起床後も
まず水分・塩分補給を



※水分や塩分の摂取量は
かかりつけ医の指示に従いましょう。

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B

出題・イラスト：ゆきたけし



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙か、右のQRコードに答え（番号）と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAX又は応募フォームでご応募下さい。

抽選で6名の方に、JAきたみらいの「麦まるごとうどん」と新商品「ゆめいころと手羽元のスープカレー」をプレゼント致します。



7月号まちがいさがしの当選者

7月号のまちがいさがしの答えは「4、6、7、9、12」でした。

正解者27名の中から抽選の結果、下記の方々が当選しました。おめでとうございます。

- ・井上 琴 未さま（北見）・森岡 大 翔さま（訓子府）・内木 一 貴さま（端野）
- ・吉井 一 葵さま（訓子府）・山内 芳 子さま（端野）・木島 幸 子さま（訓子府）

以上の方々には、JAきたみらいの「玉ねぎ焼肉のたれ」と「玉ねぎボン酢」をプレゼント致します。



祭りに行きたい！
はやく夏休みになって欲しい！

（端野地区 谷川 紗彩さん）

楽しみにされていた夏祭りは満喫できましたか。夏休みも後半となりましたが、ご家族やお友達との楽しい思い出がたくさんできていたら何よりです。暑さに気を付けながら、残りの夏も素敵な時間をお過ごしください！

VOICE

読者の声

JAきたみらい概要

（令和8年7月20日現在）

- ・組合員数（正） 1,570人
- ・組合員数（准） 5,316人
- ・組合員戸数（正） 805戸
- ・貯金 114,740百万円
- ・貸出金 19,908百万円
- ・出資金 5,090百万円